



J. FRONT RETAILING

2012年9月14日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務
 お問合せ先 経営計画事業統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2012年8月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	8月度	3～8月度累計
百貨店事業	0.5 (0.5)	1.0 (1.9)
スーパーマーケット事業	▲ 9.8	▲ 10.2
卸売事業	26.3	16.1
クレジット事業	3.2	4.6
その他事業	30.0	12.8
連結合計	1.3	0.4

（注）百貨店事業合計の（ ）内は博多大丸長崎店(2011年7月31日営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・8月度の百貨店事業の売上は、月末まで続いた残暑により婦人服の秋物定価商品の動きが鈍かったものの、パラソル、サンダルなど盛夏ファッションが活発に動き、ラグジュアリーブランドや時計・宝飾品も好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年0.8%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同0.5%増となった。

2) スーパーマーケット事業

- ・ピーコックストアは、競合激化が続いたことに加え、閉鎖店舗（みさと店など計3店舗および1事業所）の影響もあり対前年▲9.8%減となった。地区別では、首都圏が対前年▲10.2%減、関西地区が同▲7.7%減、中部地区が同▲12.9%減であった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、金属樹脂加工品、食品などの好調により対前年26.3%増となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、加盟店手数料収入などが順調に伸び対前年3.2%増となった。
- ・その他の事業は、東京店増床にともなう改装工事などで大幅増となったJ.フロント建装が牽引した。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2012年8月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	8月度		3～8月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	0.6	0.6	0.4	3.6
大丸 梅田店	0.6	▲6.0	4.4	▲3.3
大丸 東京店	2.3	1.8	7.5	7.7
大丸 ららぽーと横浜店	▲4.6	▲3.4	▲2.6	▲1.1
大丸 浦和パルコ店	4.9	8.3	3.8	7.9
大丸 京都店	▲1.8	▲0.0	0.4	0.9
大丸 山科店	▲0.7	▲1.1	▲1.5	▲2.4
大丸 神戸店	5.8	7.1	4.8	6.1
大丸 新長田店	▲3.6	▲3.0	▲2.4	▲3.0
大丸 須磨店	1.5	0.0	▲1.6	▲2.1
大丸 芦屋店	▲3.1	▲7.2	▲3.0	▲7.2
大丸 札幌店	1.0	▲0.1	2.4	0.0
松坂屋 名古屋店	0.4	18.8	1.1	27.5
松坂屋 上野店	▲3.3	▲5.6	1.9	1.3
松坂屋 静岡店	▲0.4	8.9	▲0.1	8.9
松坂屋 銀座店	6.8	1.2	5.7	13.9
松坂屋 高槻店	▲1.5	▲9.1	▲1.0	▲5.2
松坂屋 豊田店	6.0	2.6	2.8	2.9
大丸松坂屋百貨店合計	0.8	0.1	2.2	3.1
博多大丸	▲1.5	▲1.8	0.4	▲1.2
下関大丸	▲2.0	▲7.2	▲1.6	▲4.8
高知大丸	▲2.1	▲2.5	▲1.0	1.6
百貨店事業合計	0.5	-	1.9	-

※注）博多大丸および百貨店事業合計の前年は、博多大丸長崎店（2011年7月31日営業終了）を除く。

前年に博多大丸長崎店を含めた博多大丸合計の3～8月度累計は対前年▲9.8%減、百貨店事業合計の3～8月度累計は 同1.0%増。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	8月度	3～8月度累計
紳士服・洋品	3.5	2.6
婦人服・洋品	2.3	5.3
子供服・洋品	▲1.0	▲0.1
その他の衣料品	4.4	3.4
衣料品計	2.4	4.4
身回品	▲1.6	▲0.4
化粧品	3.8	4.6
美術・宝飾・貴金属	2.0	3.6
その他雑貨	▲11.4	▲12.2
雑貨計	1.7	2.7
家具	▲22.9	▲14.5
家電	19.8	15.9
その他の家庭用品	2.1	5.0
家庭用品計	▲4.6	0.1
生鮮	▲1.2	▲1.8
菓子	1.0	2.7
惣菜	2.9	1.9
その他食料品	▲5.0	▲1.8
食料品計	▲0.4	0.4
食堂・喫茶	0.1	3.7
サービス	▲18.4	▲16.0
その他	7.4	0.6
合計	0.8	2.2

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、Tシャツやワンピースなどの盛夏アイテムの動きが良かったことに加えて、ラグジュアリーブランドが好調を継続し前年を上回った。紳士服・洋品は、夏物セールでスーツやスラックスなどが良く動いた。身回品は、アクセサリ、ハンドバッグは堅調であったものの、婦人靴が苦戦した。雑貨は、化粧品、宝飾品、時計が堅調であった。食料品は、改装効果が続く神戸店や8月22日(水)に食料品売場を増床オープンした東京店などは好調だったが、催事が不調であった。